

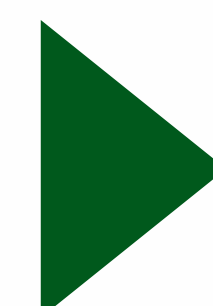


市制35周年を記念して「ふるさと枚方」らしい風景を将来に伝承していくことを目的に枚方八景を制定しました。

昭和59年10月1日制定 枚方市



English guide
한국어 안내
中文 指南



枚方八景位置図



くずはのみや あと もり 樟葉宮跡の杜

「日本書紀」によると、越前えちぜんの三国みくに(福井県)から迎えられた継体天皇は、507年に樟葉宮で即位したとされます。

石灯籠いしどうろうが並ぶ参道を進み左に曲がって、木造の鳥居とりいをくぐると、拝殿はいでんの向こうに室町時代に修復された一間社流造で桧皮葺ひわだぶきの本殿きふねが見えます。拝殿の右に森の中を奥へ進む道があり、これが貴船神社への参道です。つきあたりの右手に自然石の階段があり、この小丘のあたりは継体天皇が即位した樟葉宮跡と伝えられています。

また、桓武天皇は延暦6(787)年、長岡京の南郊の地を選び、郊こう祀壇しだんを設けて、父光仁天皇を天神あまつかみとして祀りました。これが交野あまつかみのやしろ天神社の起源とされています。

そうした聖域だけに、大昔から原生林の姿を残し、かすかな木漏れ日は、訪ねる人を遠く古代に誘い込みます。

鏡伝池きょうでんいけは、ここから南へ徒歩2分の「市民の森」にあり、古来観月の名所なつかで、鷹狩りのあと鷹の姿をこの池水ちすいに映すのが慣わしだったといわれています。

